

ご案内 温泉、体験、特産品など

歴史館

真田氏歴史館

時代を駆け抜けた真田氏ゆかりの品々がある資料館。真田三代の歴史が分かる人気のスポット。

長野県上田市真田町本原2984-1
TEL:0268-72-4344
AM9:00～PM4:00
火曜日、年末年始定休(火曜日祝日の場合翌日定休)
大人:200円 小中学生:100円

観光案内所・体験・お土産

ゆきむら夢工房

真田エリアの観光案内所。そば打ちなど食の加工体験などもでき、電動アシスト自転車の無料貸出もしている。

長野県上田市真田町長6090-1
TEL:0268-72-2204
AM8:30～PM5:15
年末年始定休

野菜直売所

新鮮市真田

地元真田地域の野菜や山菜、きのこ、果物のほか地元ならではの加工品も販売している直売所。

長野県上田市真田町長6109-1
TEL:0268-72-2030
5月～11月 AM8:00～PM4:00
12月～4月 AM9:00～PM2:00
年末年始定休

温泉

真田温泉(ふれあいさなだ館)

天然温泉(アルカリ性単純温泉)、お食事、温泉プールなども完備した旅の疲れを癒す日帰り温泉施設です。

長野県上田市真田町長7369-1
TEL:0268-72-2500
AM10:00～PM9:30(受付PM9:00まで)
火曜日定休(祝日の場合は翌日)
大人:500円 小中学生:250円

地蔵温泉(十福の湯)

県下最大級の庭園露天で人気の日帰り温泉、またお食事もメニューが充実している。本格石窯焼きピザも人気。

長野県上田市真田町傍9097-70
TEL:0268-75-3855
AM10:00～PM10:00(受付PM9:30まで)
(12月1日～3月中旬は開館が1時間速くなります)
不定休
平日・大人:600円(土日祝:650円) 小学生:300円

千古温泉

神川渓谷にある日帰り温泉。上流には真田十勇士の霧隠才蔵が忍者修行をしたといわれる千古の滝がある。

長野県上田市真田町長6395
TEL:0268-72-2253
AM10:00～PM8:00
毎月20日定休(土・日曜日の場合は営業)
大人:500円 小中学生:250円

角間温泉(岩屋館)

真田の里の隠し湯として名高い角間温泉にある大自然に囲まれた静かな一軒宿。(茶褐色の炭酸泉)

長野県上田市真田町長2868
TEL:0268-72-2323

お食事処

そば処いたこ庵

TEL:0268-72-5132
AM11:00～PM8:00 月末以外の水曜日定休

キミック(パスタ、アップルパイなど)

TEL:0268-72-4049
AM11:00～PM8:30(オーダーストップPM7:30) 不定休

食事処仙岳(手打ちそば、手打ちうどん、定食)

TEL:0268-72-3832
AM11:30～PM2:00, PM5:00～PM9:00
月曜日定休(祭日の場合翌日)

すし春

TEL:0268-72-4150
AM11:30～PM1:00(土日のみ), PM5:00～PM11:00

自家焙煎珈琲専門店 エキスパート珈琲

TEL:0268-72-0140
AM10:00～PM6:30 月曜日定休

味処やまぐち(焼肉、ラーメン、定食)

TEL:0268-72-3666
AM11:30～PM2:00, PM5:00～PM9:00 火曜日定休

駅前食堂(ラーメン、定食など)

TEL:0268-72-2535
AM11:30～PM1:30, PM5:00～PM8:00 日曜日定休

そば処真田

TEL:0268-72-3113
AM11:30～PM1:30, PM5:00～PM6:30 火曜日定休

そば処佐助

TEL:0268-72-2287
AM11:30～PM2:30 第2、第4曜日定休

札幌ラーメンとさん娘真田店

TEL:0268-72-2225
AM11:00～PM2:00 水曜日定休

お休み処さなだ庵(そばすいとん、おはぎ)

TEL:090-4952-6278 10名様以上は要予約
AM10:00～PM4:00
土日祝日営業(冬期11月中旬～4月中旬まで閉館)

カフェ・あん(あんみつ、ケーキ)

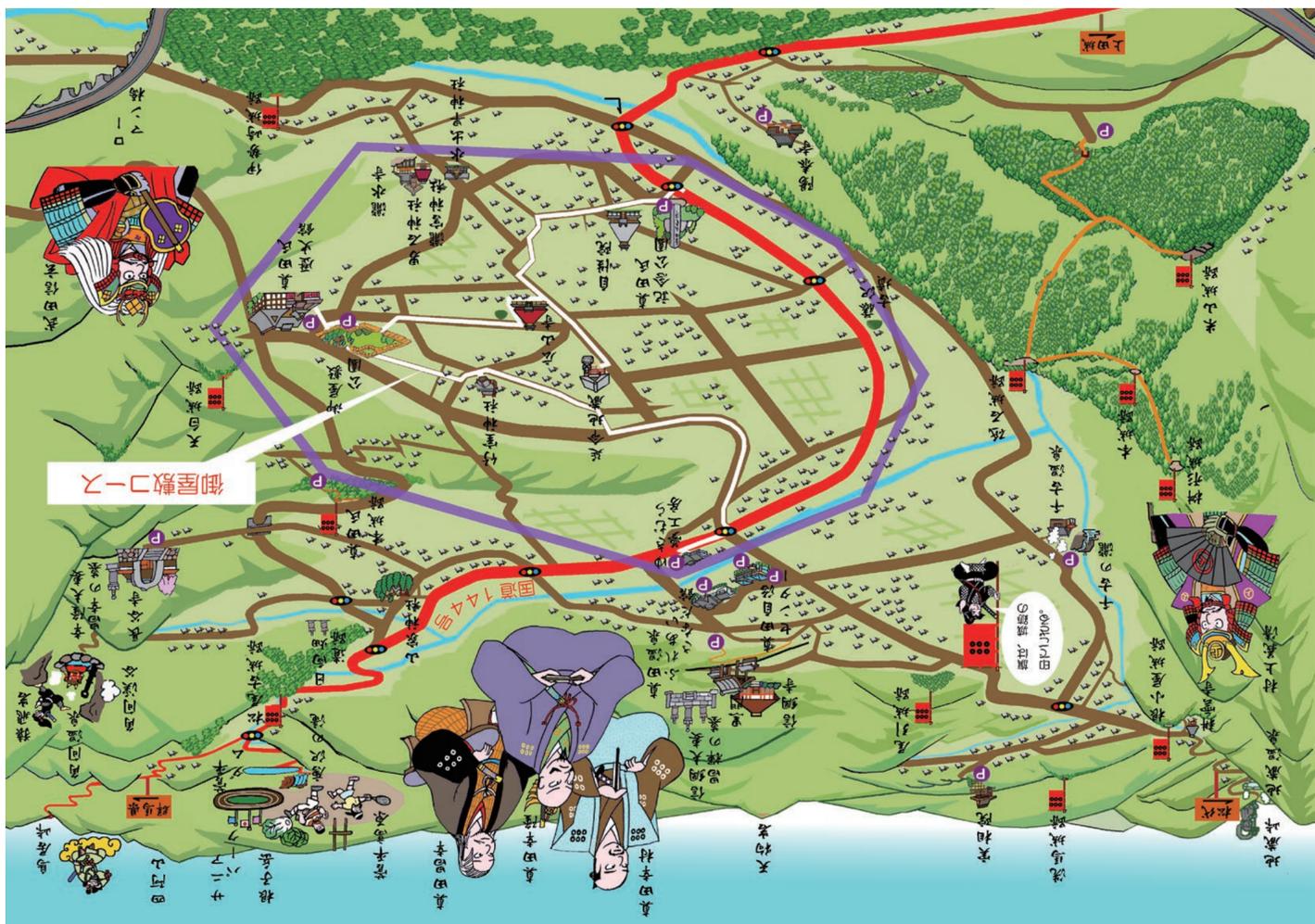
TEL:0268-72-2949 月曜日定休

食事処しりんり(そば、定食)

TEL:0268-72-3986 火曜日定休(祝日の場合は翌日)

味扇

TEL:0268-72-4084
正午～PM0:40, PM5:00～9:00 月曜日定休



ようこそ、歴史ロマンの郷へ 戦国の名将、真田一族の軌跡をめぐる旅

真田三代の歴史とともに

名だたる武将たちが群雄割拠し天下をうかがう戦国の世にあって、信濃の小豪族から戦国大名へと上りつめた真田一族。戦国武将のなかでも高い人気を誇る真田氏ゆかりの地・上田市真田町には、往時をしのばせる数々の名高い古跡が残されています。

礎となった幸隆

真田氏の礎を築いたのは幸隆でした。武田信玄に仕えた武将のなかでも評価の高い「武田二十四将」の一人とされています。海野平の合戦(1541年)で武田、村上、諏訪の連合軍に破れた幸隆は、その後、武田氏の家臣となり、信濃先方衆として第一線で活躍。知謀をめぐるその戦いぶりは武田信玄の北上州攻略の大きな力となり、高い評価を得ました。

上田城を築いた謀将・昌幸

幸隆の跡を継いだのは長男・信綱でしたが、長篠の戦い(1575年)で次男・昌輝ともども討死すると、三男・昌幸が家督を相続します。武田氏の滅亡後は織田信長に恭順するも、ほどなく信長は本能寺の変で横死。北条、徳川、上杉による武田氏の遺領をめぐる争いが起こります。

昌幸は、上田・小県地方を固めるべく、戦略と政治・経済の中心となる上田城を築城し(1583年)、城下町を築きます。家康から真田領上州沼田の引き渡しを迫られた昌幸は、これを拒否。自身は上田城に、長男・昌幸は支城である碓石城にろう城し、7000もの徳川軍を約1200の兵で迎え討つと言われます。徳川の犠牲者1300に対し、真田の戦死者は40ほどとされ、昌幸は謀将として知られることとなったのです。

袂を分かつ関ヶ原の戦い

秀吉の死後、家康の影響が高まると、石田三成を中心に反勢力が結集。関ヶ原の戦い(1600年)という天下分け目の戦いが始まります。このとき、昌幸と次男・幸村父子は豊臣側の西軍に、長男・昌幸は家康側の東軍に分かれて戦うことになりました。昌幸・幸村父子の2,500の真田軍は徳川秀忠率いる38,000もの兵を上田城で迎え撃ち、これを見事に退けます。

大坂の陣で武勇を誇った幸村

その後、徳川と豊臣の関係は悪化の一途をたどります。大名の加勢が望めない豊臣家は九度山の幸村にも使者を派遣。その招きに応じた幸村は、長男・大助とともに大阪城に入城。父・昌幸の、家康への遺恨を晴らすべく徳川軍を撃破し、天下に武名を知らしめました。

さらに、徳川方が約定を破り大阪城を大軍で包囲して大坂夏の陣(1615年)がおこると、幸村は家康の本陣にまで攻め込み、家康旗本勢を撃破。その凄まじさは家康に自害を覚悟させるほどだったと言われますが、軍勢に勝る徳川軍には及ばず、ついに無念の死を遂げることとなります。しかし、家康をぎりぎりまで追いつめた希代の名将として、その名は現代に語り継がれているのです。

六文銭は覚悟の旗印

真田といえば、一族の旗印である六文銭が有名です。幸隆の考案とされる銭紋は、死者を埋葬する際に棺に入れる六文の銭、いわゆる冥銭を表していると言われます。つまり、三途の川の渡し銭であり、不借身命(仏法のために命を惜しまず捧げること)を意味するのです。軍旗をひるがえしながら敵に攻め込む真田軍は、命を惜しまぬ覚悟を秘めていたからこそ、家康をはじめとする武将たちを震え上がらせたのではないのでしょうか。

上田市真田町には、真田一族のみならず、壮大な歴史を感じさせる数多くの名所旧跡が点在しています。歴史ロマンに出会う旅を存分にお楽しみください。歴史探訪のあとは、信州の自然や温泉めぐりもおすすめです。

問い合わせ: 上田市真田地域自治センター
長野県上田市真田町長7178-1
TEL・FAX: 0268-72-2204
E-mail: ssangyo@city.ueda

真田三代 に出逢う MAP 御屋敷コース



真田氏發祥の郷

1 真田氏記念公園

このコースの出発点。石碑は「真田太平記」の著者・池波正太郎氏の揮毫(きごう)によるもので、幸隆・昌幸・幸村のレリーフもある。



2 自性院(じしょういん)

宝珠山自性院。曹洞宗の寺院で開基は村上義清の父・頼国と伝わるため、屋根の寺紋は「丸に上文字」。本堂は江戸中期に再建されたもので、本尊の横に安置される鬼子母神は安産や子供の成長にご利益があるという。



3 六角堂

火防観音を祭るお堂で、二十三夜講などのお日待ち・月待ち講の会場や村の集会場として使用されてきた。お日待ち・月待ちとは日を決めて日の出や月の出を待つ行事で江戸後期に盛んになった。真田町内には関連の石碑が多くある。



4 吉田堰(よしだせき)

養老年間(717~724)に開削された水路。真田町石舟から取水し、等高線上を進み東御市の海野で千曲川に流れ落ちる。支流を含めて17キロあるが、真田町内では流れが速く水難事故が多発したため「人取り川」とも呼ばれ、現在は暗渠部分が多い。永禄年間(1558~1570)には真田幸隆が大改修をした記録もある。



5 中原延命地藏尊・身代地藏

昔むかし、この地に藪屋長者という金持ちの屋敷があり、こぶじという娘が働いていた。こぶじは信心深く毎日このお地藏様にお参りしていたが、ある日長者の井当の一部をこのお地藏様にあげたのが見つかり、怒った長者が罰として焼く火鉢をこぶじの額にかけて振り下ろした。そのとき、「続きはこぶじ塚の項」



14 ゆきむら夢工房

観光案内所。観光ガイドマップや各種パンフレットが常備され、専門の案内人が観光コースの相談にのってくれる。レンタルの電動アシスト自転車も常備されており坂道の多い真田では大変重宝する。真田のお土産もそろっているの、最後に寄るととても便利。



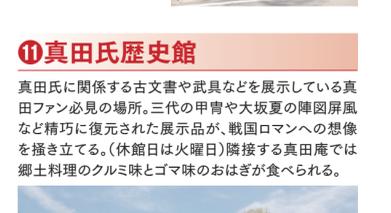
13 すが原

真田唯一の和菓子屋さん。そばきんとん、黒糖まんじゅう、各種おはぎなどを製造販売しますが、年間を通して製造するくるみゆべしが名物で、ゆきむら夢工房でも販売している。



12 竹室神社(たけむろじんじや)

拝殿の後ろ続きに建つ上屋の中に間口74cmの本殿が建っている。祭神は大江山頼朝と日本武尊で古くは柴宮と称した。本殿の建築は明治12年で側壁には中国の親孝行の逸話「二十四孝」の故事が三つ彫刻されている。中でも郭巨が金の釜を掘り出したものは圧巻である。



11 真田氏歴史館

真田氏に關係する古文書や武具などを展示している真田ファン必見の場所。三代の甲冑や大坂夏の陣図屏風など精巧に復元された展示品が、戦国ロマンへの想像を掻き立てる。(休館日は火曜日)隣接する真田庵では郷土料理のグルメとゴマ味のおはぎが食べられる。



道しるべ
コースの一部に昔の上州街道や松代街道が組み込まれているため、旅人を導いた石碑の道しるべを見ることができる。

6 広山寺(こうざんじ)

永禄8年(1565)に真田幸隆が創立した曹洞宗の寺院。本堂は江戸中期の建築で、広縁の天井に描かれた龍の墨絵は迫力がある。



7 お北の塚(おきたのつか)

広山寺の墓地には真田信綱夫人の墓と伝わる「御北之塚」がある。信綱は昌幸の長兄で初代幸隆の嫡子にあたる。家督を継いだ翌年、長篠の合戦で戦死したため二代目になった昌幸が、その夫人を丁重に遇したと伝わる。墓は信綱寺にもあるが、ここは夫人の領地が多くあった地域なので、その縁で塚が作られたのであろう。



8 こぶじ塚(こぶじつか)

(中原延命地藏尊からの続き)そのとき、こぶじの姿が消えてしまった。不思議に思い切りを探したら、こぶじがお参りしていたお地藏様の額と胸に火ばして傷ついたあとが見つかり、これを見た長者は行いを悔いて、こぶじ塚を建て、その霊を供養したとさ。



9 広山寺古墳

真田町内には30基を越す古墳が発見されているが、その多くがこのコース周辺内に点在する。その中で最も大きなものがこの古墳である。南北18m東西20m高さ4.5mのほぼ円形の古墳で、内部には南南西に開口部を持つ横穴式の石室がある。埋葬品は盗掘に遭い発見されていないが、その立地から西暦600年前後と推定されている。



10 御屋敷公園

真田氏が上田城を築城する前に居住していた館跡と考えられている。東西150m南北130mのやや台形の敷地の周りに土塁を廻らせ、南側に大手口があって柵も残っている。現在は上田移転の折、この地が荒れのを憂った真田昌幸によって皇大神社が祭られ、現在は御屋敷公園として整備されつつある名所として名高い。



道祖神
道祖神は道の神として悪霊を防ぎ村や旅人を守る神で、文字以外にも男女の神様が抱き合った微笑ましいものもある。

馬頭観音
馬頭観音または馬頭大士と彫られた石碑。馬を守る神で農耕や街道の輸送に馬が活躍した名残りで、旅や道の安全を祈っている。